

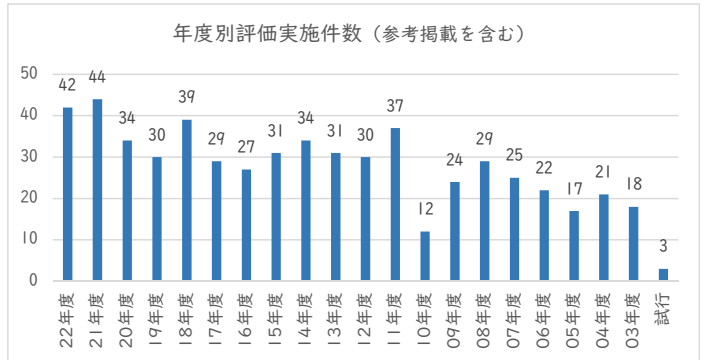
## 評価室活動報告

ひと・まち社は都の福祉サービス第三者評価を行う評価機関として高齢・障害・子どもに関する福祉サービス事業所の評価を行っており、これを主たる事業収入としています。コロナ禍ではありますが、福祉サービス第三者評価の受審件数は若干増加の傾向があります。2021年度の実施状況は、全国で5,235件、東京都はそのうちの3,694件(70.6%)でした。

ひと・まち社は30名の登録評価者で、年間30件の評価実施を目標として活動しています。2022年度は評価者から推薦のあった2名の養成講習修了者を加えて32名で活動し、42件の評価実施となる見込みです。特別養護老人ホームからの実施依頼が12件と多く、就労継続支援B型、生活介護、多機能型などの障害者福祉の事業所が11件と多く、保育所は2件でした。

今年度は生活クラブ運動グループからも、認可保育所「生活クラブ保育園ぼむ・向原」と、主な利用者が重症心身障害者の生活支援事業所「ロングサポートLa・Nature」から実施依頼がありました。様々な状況を抱える利用者や家族に対して親身になって活動するメンバーの姿にカブげられました。

	施設			地域密着			在宅系						保育所			障害者					社会的養護		計
	特養	養護ホーム	特定施設	認知症GH	小規模多機能	定期巡回	通所介護	認知症通所	訪問介護	居宅介護支援	訪問看護	ショート	認可	認証	就労B	生活介護	居宅支援	多機能	GH	放課後デイ	児童養護	母子支援	
22年度	12	0	0	7	2	1	2	1	0	0	0	1	2	0	5	2		3	1	0	3	0	42
以前	100	2	1	164	41	12	56	0	17	11	3	4	39	46	14	2	2	6	3	2	9	3	537
合計	112	2	1	171	43	13	58	1	17	11	3	5	41	46	19	4	2	9	4	2	12	3	579



評価は必ず複数で行うことになっており、1件の評価は評価者2~4名がチームとなって、事業種の分野に応じてチーム編成をしています。評価者は毎年悉皆研修の受講と、3年ごとの専門研修の受講が義務付けられています。ひと・まち社でも内部研修を行ったり、評価者への福祉情報の発信を行うとともに、合議を通して経験ある評価者からOJTで学びながらわかりやすい評価結果報告書作成に努めています。

評価事業を開始して20年を超え、評価者も少しずつ入れ替わりがあり、昨年度はひと・まち社としての評価手法を冊子にまとめ、今後も共通認識をもって評価事業を継続します。

## 第22回総会を開催いたしました

今年もハイブリッド方式で3月17日に第22回総会を出席13名、書面議決5名、委任状26名で開催し、すべての議案が承認されました。

2022年度は、制度改正に伴う個人情報保護規程の見直し、就業規則・職務権限規程などの規定類を整備しました。また、評価実施にあたってのマニュアル類についても見直し、冊子化して登録する全評価者に配付しました。

調査研究活動は取り組みませんでした。自治体政策研究会との連携でこれまでの介護保険制度に関する20年の調査研究活動の振り返りを行い、機関紙に載せて報告しました。また、まちぼつからの提案を受け、児童相談所の調査に向けたプロジェクトに参加し、調査に向けたヒアリングを行うなど情報収集に努めました。

評価事業では、コロナ禍のためゆとりを持った評価スケジュールを組み、事業所訪問時間を短くするなど対策を取ってきましたが、例年になく多くの事業所でのクラスター発生により事業所訪問のスケジュールが大幅に延期となり、いくつもの評価が重なり

評価者の調整が厳しい状況となりました。

2023年度は介護保険や児童相談所の調査実施に向けて調査活動を具体的に取り組むとともに、事務局内の役割分担を具体的にすすめていきたいと考えていますので、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

2022年度活動計算書(1/1~12/31)

科目		金額	
経常収益	会費	396,000	
	寄付金収入	541,000	
	第三者評価事業	16,728,800	
	調査・研究	2,000	
	活動サポート・人材育成	0	
	情報発信	39,890	
その他収益	72	17,707,762	
経常費用	人件費	5,288,316	
	委託費	5,243,500	
	旅費交通費	1,064,099	
	通信・運搬費	660,599	
	事務・消耗品費	530,400	
	印刷・広報費	464,011	
	施設使用料・水道光熱費	1,188,536	
	研修・図書費	102,000	
	租税公課(消費税・印紙)	689,400	
	雑費(会議費・支払手数料)	119,123	15,349,984
管理費	295,488		
その他	394,140	689,628	
税引前当期正味財産増減額		1,668,150	
法人税等		378,900	
税引後当期正味財産増減額		1,289,250	
前期繰越正味財産		6,084,520	
次期繰越正味財産		7,373,770	

### メールアドレス登録のお願い

ひと・まち社ではSDGsの取り組みとしてペーパーレスをすすめています。今後の機関紙「ひと・まち」の電子データでの発信を検討しています。通信購読をご希望の皆様にはメールアドレスのご登録へのご協力をお願い致します。np0@hitomachi.org

ひと・まち社へのご寄付をお願いいたします

振込先口座

特定非営利活動法人市民シンクタンクひとまち社

三菱UFJ銀行 新宿中央支店 普通 5298170

編集後記：街を歩いていると満開のミモザの花が。ミモザが見上げるほど大きな樹木だと初めて知った。3月は女性の社会参加や地位向上を訴えるイベントが続き、毎月11日は各地でフラワーデモが開かれている。ジェンダーギャップ指数は、146国中116位(2022年度)で先進国では最低レベル。ジェンダーギャップを解消し誰もが生きやすく、女性も子どもも、基本的人権が守られる社会になることを願う。(K)